

ひがしね 議会だより

HIGASHINE GIKAI PUBLIC INFORMATION...No.111

2019
11.1



17年ぶりの大ケヤキの下での結婚式



東根市議会

検索



東根市のこんなことが決まりました

●会期 8月29日～9月20日まで

項目	件数	概要
平成30年度決算認定	9	<ul style="list-style-type: none"> ・一般会計 ・特別会計（国民健康保険、東根財産区、公共下水道事業、介護保険、市営墓地、後期高齢者医療） ・公営企業会計（水道事業、工業水道事業）
平成30年度補正予算	7	<ul style="list-style-type: none"> ・一般会計 ・特別会計（国民健康保険、東根財産区、公共下水道事業、介護保険、市営墓地、後期高齢者医療）
条例関連	6	<ul style="list-style-type: none"> ・森林環境管理基金の設置、管理及び処分に関する条例 ポイント1 ・市民バス設置及び管理に関する条例 ポイント2 ほか4件
人事案件	1	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員候補者の推薦
請願審査	1	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2020年度政府予算に係る意見書採択要請の請願書 ポイント3
委員会発議	2	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員定数の改善と義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書 ・議員の派遣

※詳細は、ホームページで確認できます。

ポイント1



森林整備及びその促進・普及を図る事業の基金が創設されます

議第71号 東根市森林環境管理基金の設置、管理及び処分に関する条例の設定について

基金は、森林の持つ地球温暖化防止、土砂災害防止、国土保全、水源涵養等の多面的機能の保全を図る事業に有効活用できることから、条例は全会一致で可決されました。

こんな質疑がありました

議員 森林整備及びその促進・普及に関し、今後予定される事業の主な内容は、**経済部長** 森林所有者への移動などの確認、森林境界の確認、森林経営についての意向確認と、意向確認に基づき市への委託手続き、森林の手続き、森林の間伐や下刈りなどの管理を計画的に行うもの。

議員 財源の仕組みについて伺う。

経済部長 財源は、令和6年度に創設される森林環境税（徴収）と森林環境譲与

税（交付）からなるが、今年度から交付される分は、国が財源を確保し、先行譲与される。令和6年度からは、現在、徴収されている東日本大震災を教訓とした防災対策のための住民税均等割りが

廃止となり、先の環境税に充当されることから実質増税とはならない。



ポイント2



大富地区、神町地区に
市民バスが通ります

議第76号 東根市市民バス設置及び管理に関する条例の一部を
改正する条例の制定について

大富地区、神町地区における公共交通空白地域の解消を
目的として、荷口神町東根線の運行を行うため条例の一部
改正が行われました。

こんな質疑がありました

議員 荷口から宿までの
区間をフリー乗降区間とし
た理由は。

生活環境課長 交通量等を
勘案し、委託会社とも相談
の上、この区間のみフリー
乗降区間とした。

議員 利用拡大に向けて
の周知をどのように考えて
いるか。

生活環境課長 市報に改正
時刻表を折込み配布する予
定。運行経路となる地区に
は、別途周知する。



ポイント3



請願を採択し、国への意見書の
提出を可決しました

請願第1号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の
1復元をはかるための、2020年度政府予算に
係る意見書採択要請の請願書

発議第2号 教職員定数の改善と義務教育費国庫負担制度拡充
を求める意見書について

来年、小学校では新しい
学習指導要領が完全実施さ
れ、新たに英語やプログラ
ミング学習等が追加される。
小・中学校ともに、基礎学
力の定着とそれらを活用す
るための授業改革が求めら
れ、教員の負担増加が懸念
されている。

このことから、「請願第
1号」政府予算に係る意見
書採択要請の請願を採択し、
政府関係機関に対し意見書
提出すべきものとして、総
務常任委員会発議で意見書
を提案し可決された。



▲プログラミング学習の様子

平成30年度決算を認定！

東根市のお金の使い方をチェックしました

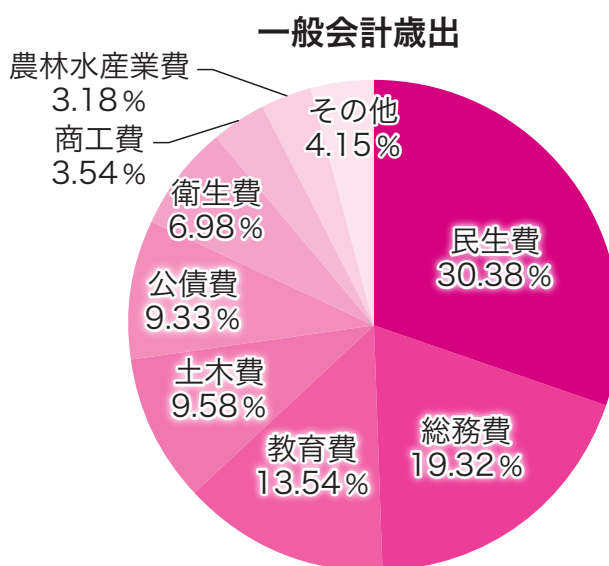
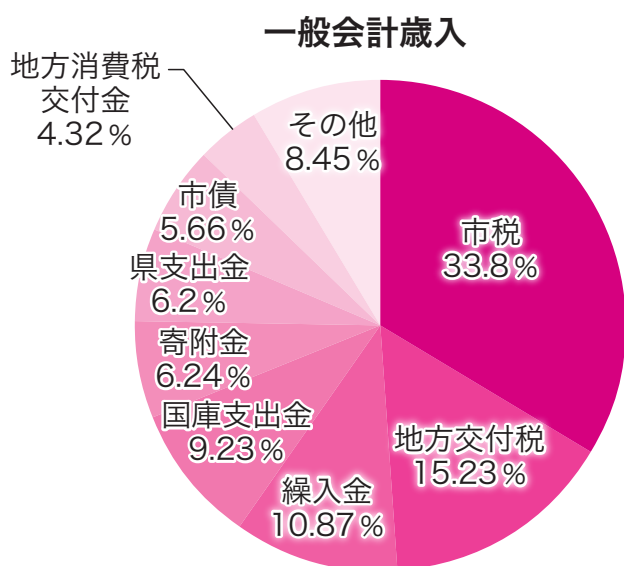
東根市のお金がどのように使われたのか、決算特別委員会を開催して、慎重に審議しました。

9月5日は全体で、11日と12日には3つの分科会を設置して、より詳細に審査をしました。

ここで、審査された内容の一部を紹介します。

一般会計の歳出

207億5,189万8,262円



特別会計の歳出総額

110億8,992万1,146円

特別会計	歳入決算 (円)		歳出決算 (円)	
	項目	金額	項目	金額
特別会計	国民健康保険	4,616,930,549	国民健康保険	4,564,550,139
	東根財産区	1,407,316	東根財産区	983,410
	公共下水道事業	1,960,498,750	公共下水道事業	1,960,227,041
	介護保険	4,228,018,956	介護保険	4,069,111,565
	市営墓地	4,334,486	市営墓地	1,607,969
	後期高齢者医療	496,665,062	後期高齢者医療	493,441,022

企業会計

事業	収益的収支		資本的収支	
	金額	金額	金額	金額
水道事業	収益的収支	1,187,846,473	資本的収支	992,137,246
	資本的収支	28,956,153	資本的収支	456,881,108
工業用水道事業	収益的収支	230,022,192	資本的収支	159,590,635
	資本的収支	0	資本的収支	113,324,640

消防庁舎整備等事業

決算額：4,631万6,400円



PFIにより整備された庁舎が15年経過する令和3年度に償還終了を迎える。消防庁舎は、市民の生命・財産・安心安全な生活を守る要であることから、今後の維持管理についても十分な機能が発揮されるように強く要望した。

防災行政無線整備事業

決算額：728万3,993円



災害時に役立つ機能を備えた多機能ラジオ

防災行政無線は、高齢者や住宅の状況によっては聞き取ることができない場合がある。メール等複数の方法で同じ内容を発信しているが、近隣自治体では防災無線ラジオ導入を決定したところもある。

難聴地域の解消や、高齢者等の確実な情報受信のための取り組みを強く要望した。

東の杜運営管理事業

決算額：2億5,012万6,385円



「東の杜」がオープンしたが、住宅地でアクセス面での課題があることから、早急に案内表示等の設置するよう要望した。

指定管理者と所管課の連携により、本市の新しい顔、芸術文化の交流施設として、賑わいのある施設となるよう期待する。

小・中学校仮設校舎リース事業

決算額：1,062万5,926円



東根中部小学校・神町中学校の一部が仮設校舎となっており、リース期間を延長している。今年度策定の「学校施設長寿命化計画」に、仮設校舎が子どもたちの学校生活に不便を来さぬよう要望した。

農産物海外販路拡大推進事業

決算額：551万4,000円



人口減少により国内の消費が横ばいの中、海外に目を向けた攻めの農業を展開するため、タイ・バンコク市内の百貨店等で「さくらんぼ」を、シンガポールと香港において「ラ・フランス」や「リンゴ」のプロモーションや市場調査を実施した。引き続き海外販路拡大を模索するとともに事業の推進を要望した。

高生産性農業構造確立推進対策事業

決算額：325万5,870円



農地の貸し手と借り手に対し推進費を交付する事業で、平成30年度は211人が交付対象となり約39haの農地が有効に活用された。今後とも農地の集積を通じて農業の担い手の育成、耕作放棄地の未然防止・解消に向けて取り組むことを要望した。

市道除雪機更新・整備事業

決算額：2,046万6,000円



市所有の除雪ドーザの経年劣化に伴い、ロータリー車に更新した。また、山形県所有の払い下げ除雪機を購入した。

降雪時に市道の幅出しや歩道の確保などを迅速に行い、冬期間の市民生活の安全確保に努めるよう要望した。

商業活性化事業

決算額：421万5,000円

魅力向上事業として8件（店舗整備4件、安心安全4件）に補助金が交付された。

今後はこの事業をさらに周知し、商店街等の賑わいを生み出すためのイベント事業や共同施設の整備事業等、さらなる商業活性化が図られるよう要望した。



高齢者社会参加促進事業 (おでかけサポートタクシー事業)

予算額：1,470万7,816円

620円 最大24枚 (加算区36枚)

変更

500円 最大30枚 (加算区45枚)

計算しやすいようにタクシー券を620円から500円に改め、支給枚数を増やすなど利便性向上のための見直しが行なわれた。しかし、配布枚数に対する利用率が約75%となっていることから、今後更なる事業の見直し、利用率の向上、利便性の確保に努めるよう要望した。

住民基本台帳ネットワーク事業

決算額：1,088万4,201円



本市では令和2年2月より、住民票などのコンビニ交付が始まる。

マイナンバーカードを持っていないと、コンビニ交付のサービスを受けることができないため、交付率を上げるために様々な機会を捉え周知に努めるよう要望した。

①介護予防・生活支援サービス事業

決算額：5,720万2,622円

②地域密着型介護サービス給付事業

決算額：5億7,611万44円



①前年比207%増加したが、国が一律給付していた訪問介護と通所介護が、介護保険法の改正により自治体ごとの事業として移行したためである。②前年比6.4%増加したが、市内事業所の受入定員が増えたことが影響している。今後も引き続き地域ニーズを的確に捉え、安定的な介護サービスの提供を要望した。

保育所事業

決算額：9億1,729万322円



平成30年度の待機児童は12名、平成31年度は0名。今後の保育ニーズは、他市町村からの転入などを考えると、不確定で不安な部分もあるため、その都度、保育ニーズを的確に捉えるよう要望した。

入札、契約制度

予定価格の算定

随意契約の在り方



浅野目幸一 議員

予定価格の算定と
入札の執行方法について

議員 予定価格の算定方法と価格調査の在り方は適正かどうか。

市長 算定基準により設計金額を積算し、予定価格を決定している。単価の定めがないものは、参考見積もりや物価資料の単価を適用している。

議員 予定価格の事前公表の考えはないか。事後公表は、事前漏洩防止の観点などから継続するのか。

市長 以前の入札前公表を変更し、現在は入札後の公表に改めた。

議員 市内事業者の健全育成のため、総合評価落札方式の拡大をすべきと考えるかどうか。

市長 現在年間2件程度の試行を実施しており、今後は評価項目の追加など制度の効果を高める研究をしていきたいと考えている。

設計監理の随意契約について

議員 一般に競争性のないのが随意契約である。随意契約を行う場合の要件など理由を伺う。

市長 緊急を要し、競争入札に付するいとまがない場合や、時価に比べ有利に契約できる見込がある場合等に限定されている。

議員 設計業務と監理業務の分離発注が本来の在り方と考えるかどうか。

市長 原則として設計・施工・監理を分離して委託する。しかし、コスト削減につながる場合もあるため、最も有効な方法で行う。

用語解説

※総合評価落札方式

最も安い価格で入札した企業を落札者とする価格競争方式ではなく、企業の技術力等と価格の双方を総合的に評価し、落札者を決定する方式。



東根市の工事発注状況（H30年度）

入札件数	145件
上記中、落札率 98%以上	67件
発注額（予定価格）計	2,469,514千円
落札額（当初契約）計	2,340,444千円
落札率の平均（件別平均）	94.19%
※ 〈 〉 内はH29年度	〈93.51%〉
低入札価格調査件数（決定保留）	20件

※落札率……

予定価格に対する落札額の割合

※低入札価格調査……

入札価格が予定価格を大きく下回った場合、適正な施工が可能かどうか調べる制度

一般質問

※質問議員が責任を持って
原稿を作成しています。

中山間地の農地の現況と 今後の市としての対応について 東根市の 新規就農者の実態について



清野 忠利 議員

中山間地の農地の現在の状況と
今後の市としての対応について

議員 7月に市議会議員選挙があり、市内全地域を回った。4年前の中山間地の景観が一変していた。こんなに景観が変わって、集落が大丈夫なのかという思いをした。

全国どの地域でも耕作放棄地が増加し、本市も同じ状況にある。特に中山間地での耕作放棄地はここ数年増えている。少子高齢化による担い手不足や有害鳥獣被害の拡大で、以前あった水田やタバコ畑、果樹野菜等の作付けが消え、耕作放棄地となっている。農地の保全を急ぐべきである。

市長 耕作放棄地は年々増加しており、「喫緊」の課題と考えている。これまで、新たな担い手の確保や後継者の育成、農地の集約化や機械導入による作業の効率化、有害鳥獣対策など、地域や関係機関と連携し、様々な支援を実施してきた。

今後は、既存の事業を着実に実施するとともに、法人化や農業所得向上につながる六次産業化の推進など、あらゆる可能性を探っていく必要がある。地域の意向に基づきながら、関係機関と一体となって、農地保全に向けて対応していく。

東根市の新規就農者の
実態について

議員 新規就農者に関する国の予算が減額され、新規就農者たちは、補助金が減額されているのでは不安がっている。

市長 新規就農者の支援を行う農業次世代人材投資事業は、予算額が前年度対比で1割程度減額されている。今回、減額されたのは経営開始型。農業従事者が減少していく現状において、なくてはならない制度。本市では、2年目以降の継続申請は交付決定される見込みだが、新規申請は追加交付の調整をしている現状にある。このような状況

は全国の自治体で発生しており、全ての申請者に対し、申請額のとおり交付決定されるよう、関係機関と連携を図り、国に対し強く要望していく。



※農業次世代人材投資事業

国が行う就農支援制度で、準備型と経営開始型がある。

準備型

就農前の研修期間に最大150万円を2年間交付する。

経営開始型

定着に向け年額150万円を最長5年間交付する。

子育てするなら東根市！ 「次期 支援計画」を問う 10年後、20年後を見据えた 〈安心の広域病院体制〉の構築を



齋藤俊一郎 議員

子育て世帯の声が反映された政策の実現に向けて

議員 次の子育て支援の柱となる、「次期 子ども・子育て支援事業計画（令和2年度～令和6年度）」策定に向けた今期計画の課題と次期計画の策定スケジュールは。

市長 3歳未満児の保育ニーズの受け皿の確保が課題。昨年度に実施した「子育てニーズ調査」をもとに、今年度に素案を作成し、来年度の早い段階で計画決定をしていく。

議員 計画策定の根拠と位置付けられている、「子ども・子育て会議」の活発化を目的にした「ワーキンググループ化」や、子育て世帯が直接、「生の声」を伝える「東根子育てミーティング」の開催を提案する。
市長 まずは、現行の会議の活発化を目指しながら、今後、議員提案の内容も参考にしていく。

議員 兄弟姉妹の同時在園を望む声に対し、在園が

達成されていない19%の家庭対策は。

健康福祉部長 達成率は改善されてきているが、希望に沿った入所案内が出来るように配慮をしていきたい。
議員 未就学児の集団移動経路に関する緊急安全点検の実施状況は。

健康福祉部長 17か所の危険個所の報告があり、今月中に関係機関との合同点検を予定している。

公的医療機関の今後のあり方は

議員 北村山公立病院を基軸としながら、将来に向け、山形県も関わる広域基幹病院が東根市に必要なと考える。山形県へ要望した重要事業の項目、「北村山公立病院の支援」における北村山地域をはじめ西村山地域を含めた基幹病院の再編・整備に対する考えは。

市長 北村山と西村山、両医療圏を再編整備して基幹病院のあり方を見直すことで、経営基盤の強化、診療科目の充実や質の高い医

療の提供を目的に重要事業として要望したが、それぞれの医療圏における住民の思いも強く、ハードルは極めて高いと考えている。

入所申し込み児童と受け入れ定員の6ヵ年の推移（子ども・子育て新制度開始以来）

	入所申込児童数			前年度比	三歳未満児の申込割合	受入可能定員	うち新規整備分	差引定員不足	待機児童数
	3歳未満	3歳以上	計						
平成26年度	285人	541人	826人		22.1%	783人			0人
平成27年度	323人	586人	909人	83人	25.3%	846人	21人	-63人	0人
平成28年度	328人	569人	897人	-12人	25.2%	839人		-58人	0人
平成29年度	451人	609人	1,060人	163人	36.1%	935人	146人	-125人	27人
平成30年度	587人	638人	1,255人	165人	45.4%	1,185人	179人	-113人	12人
令和1年度	592人	729人	1,319人	94人	47.7%	1,241人	31人	-86人	0人
計				493人			377人	↑定員不足は過剰分を差引いている	

5ヵ年分の申込増

9施設の整備で純増した定員

※ 上記は保育の合計であり、教育（1号認定）は含まれていない。

※ 差引定員不足について、例えば令和1年度では単純差引（受入可能定員－入所申込児童数）では-78人となるが、3歳以上では8人となっており、これを差し引いて-86人。

※ 待機児童数には、特定の保育所のみを希望する者や育休継続者等は含まれないため、定員不足数と待機児童数は一致しない。

一般質問

※質問議員が責任を持って
原稿を作成しています。

TOKYO ● 2020 東根市の ホストタウン・聖火リレーは？

子育て支援は未来への投資 在宅育児へ支援を！



山科 幸子 議員

ホストタウン登録変更へ

議員 東京オリンピック開催まであとわずかとなった。半世紀ぶりの大会で、オリンピックレガシー（遺産）を生む絶好の機会だ。ホストタウン推進事業の取り組み状況はどうか。

市長 ドイツとのホストタウン登録を受け、ハンドボールを中心に交流を進めてきた。シッティングバレーボール、ゴールボールのドイツ代表チームと合意書を取り交わし、ホストタウン登録内容の変更を行う。

議員 変更する内容は、パラリンピック競技で新たな対応が必要だ。障がい者へ配慮したハード・ソフト両面の取り組みはどうか。

総務部長 市民体育館は既存施設で対応可能だが、車いすの観戦スペースを設ける。宿泊施設はドイツ代表チーム希望の温泉旅館を活用したい。チーム合宿時に市内中学生との交流や、オリパラメダリストの講演を

行う予定である。



▲シッティングバレーボール
床にお尻の一部をつけたまま行う6人制バレーボール

記憶に残る聖火リレーに

議員 昭和39年の聖火リレーの歓迎、盛り上げの様子。来年の聖火リレーは、さくらんぼマラソン大会の翌日。聖火リレーの運営、市民の参画はどうなるのか。

市長 多くの市民に観覧、イベントに参加していただくよう、関係機関などと調整していく。

保育ニーズは年々変化

議員 無料化制度に対する取り組みは。


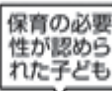
市長 国の対象施設のほか、児童センターや第3子以降の保育料、副食費など独自の支援を行う。

議員 施設等保育には多額の公費が投入されている。学童施設未入所者を含め、在宅育児にも手厚く支援を行うべきではないか。

市長 在宅育児世帯への手当等は考えていない。父親も育児に関われる環境づくりが大切と考える。

議員 少子化・核家族化で、子供を取り巻く環境は年々変化している。在宅育児の実態に見合った、幅広い支援を拡充すべきだ。

認可・認可外保育無償化の内容

認可		認可外
	認可 保育所	自治体独自の 認証保育所 幼稚園による 預かり保育
	認定 こども園	ベビーホテル ベビーシッター など
保育の必要性が認められた子ども		
3~5歳	無料	月3万7000円 を上限に補助
0~2歳 (住民税 非課税 世帯のみ)	無料	月4万2000円 を上限に補助
待機児童 世帯		恩恵なし

更新された洪水ハザードマップについて

河道内の支障木伐採について



滝口 公一 議員

更新された
洪水ハザードマップについて

議員 平成27年の水防法改正を受け本市の洪水ハザードマップが更新されたが、改正点と市民への周知方法について伺う。

市長 河川の新たな浸水想定区域が広がったこと、「浸水継続時間」を公表し土砂災害警戒区域についても表記した。その他、災害時の留意点等を分かりやすく記載した。

市民への周知として各区の区長協議会に内容を説明し、市報やホームページに掲載する。また要請があった自主防災会には職員を派遣して防災講座を実施している。



河道内の
支障木伐採について

議員 本市の河川のは、特に上流部の河道内に支障木が繁茂していて豪雨災害による被害を未然に防ぐためにも伐採や土砂浚渫しゅんせつの対応が必要なのでは。

市長 河川管理者である山形県に対し市の重要事業に掲げ、毎年積極的に要望を出しており、各区長等からの個別的な要望の場合も県の担当部署と現場立会いを行う等対応している。

県では局地的な集中豪雨の増加や洪水に対する危険性が高まったことから「河川流下能力向上緊急対策計画」という防災・減災に向けた新たな取り組みを行っているが、河川延長が長大であることから要望区域全域を整備するのは難しい実情にある。

議員 民間(個人や法人)で支障木を伐採できないか。
建設部長 県が実施している公募型支障木伐採という制度がある。伐採区間や期



間を明示して、作業と伐採木の利用を希望する方を募集しており、昨年に実施例がある。

議員 上流部では支障木を伝って猿が民家の庭先に出没し、作物を荒らしている弊害も起きている。災害が発生しても被害が最小限になるよう県に対し交渉の継続を要望する。

一般質問

※質問議員が責任を持って
原稿を作成しています。

◎運転免許証自主返納者や

交通弱者への支援拡充を！

◎猛暑対策としての電気代等助成を！



河村 豊 議員



運転免許証自主返納者、
交通弱者への支援拡充を

議員 当市の「高齢者運
転免許自主返納者支援事業」
について伺う。

市長 平成26年度から、
高齢者の運転免許証の自主
返納を推奨し、交通事故防
止に取り組んできた。

最大2年間利用可能なタ
クシー券2万円分を1回交
付し、年々増加傾向にある。
議員 65歳以上の高齢者、
返納時1回としているが、

年齢制限を撤廃し対象者を
交通弱者としてはどうか。

市民生活部長 交通弱者を
支援する施策として市民バ
スなど公共交通があり、補
完する福祉サービスとして
「おでかけさぽーとタクシ
ー」や「福祉タクシー券」
事業も実施している。

議員 精神障害者保健福
祉手帳等を所持する方の利
用料の割引・減免の内容は。
健康福祉部長 市民バスは、
小中高生と70歳以上の高
齢者、障がい者は、半額の
100円に減免している。

議員 市民バスは、高齢
者を65歳以上とすることを
提案する。また、土日の運
行がなく、空白地域がある
等、交通弱者対策としては
不十分だと考えるが。

市民生活部長 10月より泉
郷地区においてデマンド型
乗合タクシーの試行運行を
予定している。新たな公共
交通手段として検証した上
で、公共交通空白地域への
対応について考えたい。

エアコンの電気代等助成
について

議員 エアコン等の積極
的な使用を推奨するなど、
きめ細かい公報で市民の生
命を守っていくことが重要。
市長 市報、イベント等
で、水分補給を呼びかける
など、対策を講じた。

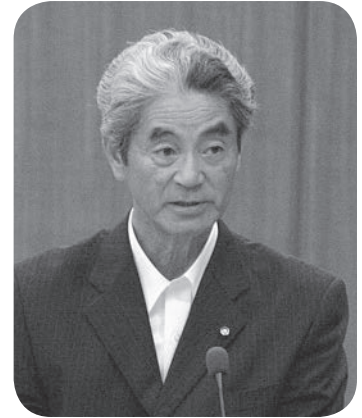
既に設置されていた中学
校に加え、小学校普通教室
へエアコン設置が完了した。
住宅へのエアコン設置
は、「住まい応援事業」等で、
後押ししている。

議員 高齢者や低所得者
への電気代助成は、効果が
あるのではないか。

健康福祉部長 周辺自治体
と情報交換をおこない、効
果的な暑さ対策を考えて、
電気代助成の必要性を確認
する。



家族農業にもっと支援を！ 再生可能エネルギーの 活用策強化は？



植松 宏 議員

家族農業について

議員 日本の農業の経営体のほとんどが家族農業。国は農業の構造改革を進めてきたが農業就業人口は毎年減り続け家族農業の存立基盤が危うい。家族農業をもっと支援すべきではないか。

市長 本市では家族農業が中心であるが農業従事者の高齢化や担い手不足、後継者問題が大きな課題となっている。これらの課題に対応するため新規参入者への支援、市内の保全会の取組等に対する支援、農地利用改善団体への支援等を行



ってきた。今後は地域の中心となる担い手に、農地の集約化や将来方針の作成等の作業を地域と一体となつて進めていく。

本市においては、他業種からの企業参入は今のところないが、地域の意見を踏まえながら慎重かつ柔軟に対応していく。

議員 新規就農者への支援は諸制度を有効に活用するとともに、東根市農協と一体となつて、技術面でもサポートしていただきたい。

再生可能エネルギーを活用した地域活性化策について

議員 使用電力量のすべてを再生可能エネルギーで賄うことを公約した企業の連合体「RE100」が世界的規模で広がりつつある。日本においてもエネルギー基本計画に「再生可能エネルギーの主力電源化に向けて取り組む」ことが明記された。本市でも再生可能エネルギーの活用策の強化を図る必要があるのではない



か。

市長 再生可能エネルギーの活用については環境保護の観点、地球温暖化防止の面で大きな役割を果たすもの。本市においても平成21年度より太陽光発電システム設置に係る一部補助を実施してきた。「RE100」に加盟する企業の広がり、横浜市などの自治体間連携協定については今後注視していきたい。
議員 世界の趨勢が再生可能エネルギーに転換している。本市には再生可能エネルギーの賦存量も十分ある。先進的に取り組んでいただきたい。

一般質問

※質問議員が責任を持って
原稿を作成しています。

聴覚障がい者、 視覚障がい者の 福祉支援について



原田 利光 議員



議員 聴覚障がい者支援について、手話の普及や新たな取り組みについて伺う。
市長 市役所の窓口手続などには、手話通訳員を配置。手話通訳員の養成講座も実施している。新たな取り組みとして、今年6月に、障がいの有無にかかわらず人格と個性を大切にしながら暮らすことができる共生社会の実現を目指し、「東根市障がいを理由とする差別の解消の推進に関する条例」を公布施行した。

手話言語条例については、各自自治体における手話に関する施策の情報収集等を行っている。本市の条例制定は、国の動向や、先進自治体の施策などを研究し、制定を行いたい。

議員 視覚障がい者支援について、社会生活を送るのに不自由はないのか、買い物や病院などの同行支援サービス利用状況を伺う。

市長 医療や税、公共料金など軽減措置のほか、「盲人安全つえ」などの補装具の支給、タクシー助成券の支給、外出や代読を行う同行援護、移動支援、市報を音声収録し、行政情報等を提供する支援などを行っている。

議員 視覚障がい、聴覚障がいだけでなく、障がい者支援・援助のヘルプマークの配布状況について伺う。
健康福祉部長 ヘルプマークは援助が必要な人というサインで、配付枚数は、昨年度は48枚、今年度7月末で17枚となっている。



議員 ヘルプマークは妊婦さんにも配付しているとのことだが、ヘルプマークの周知徹底、普及を要望する。聴覚障がい者の手話通訳支援について伺う。

健康福祉部長 手話通訳者の同行派遣は、平成29年度は35回、平成30年度は61回となっている。

議員 音声信号機設置は引き続き県に要望をお願いし、健常者でも手話になじめるよう普及に努めていただきたい。

(仮称) 大森山公園クロスカントリー コースの整備について

地域の宝 長瀬二の堀整備の

今後のスケジュールと住民参画の機会を



元木十四男 議員



▲クロスカントリーコース整備予定地

(仮称) 大森山公園クロス
カントリーコースの整備

議員 事業内容と今後の進め方について伺う。

市長 市民アンケートで最も取り組んでいるスポーツの1位と3位がウォーキングとランニングであったことから、その専用コースとして整備するもの。場所は市内中心部で、他の運動施設と近いことによる複合的な利用も期待されることから、大森山公園の諏訪山の西側約1万3千㎡の敷地で、1周約400mの全面天然芝のコースを予定している。今年度に現況測量と実

施設計、令和2年度で用地測量、3年度までに用地買収・物件補償等を終える予定。その後2カ年で整備工事し、令和6年10月オープンを目指す。

議員 コース以外の施設は何を予定しているのか。

建設部長 水飲み、あずまや四阿、ベンチ、フェンスや時計などを予定している。

議員 中学生などの部活動の利用も考えられることから、夜間照明の設置は。また、走路の幅や高低差、ウッドチップのコースはどのように考えているのか。

建設部長 実施計画で検討していきたい。コース幅は2〜3人が並走できるように5m程度を予定している。

議員 検討ではなく、ぜひ設置を要望する。

長瀬二の堀整備について

議員 地域住民がさらに親しみや愛着を持つためには、整備事業を行政や事業者任せのだけでなく、住民参加の機会も必要では

また、蔵前堀の今後の整備スケジュールについて伺う。

市長 本体工事は市、ソフト事業として学校堀周辺の植栽整備や景観保持、雨水調整池としての水位管理などに、ぜひ参画いただきたい。蔵前堀の整備は、学校堀が来年度完了であり、引き続き進める。令和8年度に完了予定である。

議員 地域の宝物の二の堀を慈しみ、大切に思う心を育てることがまちづくりであり、ひとつくりである。地元とも協議を進めながら完成年次は1年でも前倒しとなるよう要望する。



広域組合議会等概要報告

- 北村山公立病院組合議会
(東根市、村山市、尾花沢市、大石田町) 第2回定例会 7月12日開催
- 東根市外二市一町共立衛生処理組合議会
(東根市、村山市、天童市、河北町) 第2回定例会 7月8日開催
- 北村山広域行政事務組合議会
(村山市、東根市、尾花沢市、大石田町) 第2回定例会 9月30日開催
- 河北町ほか2市広域斎場事務組合議会
(河北町、村山市、東根市) 8月定例会 8月26日開催
- 山形県後期高齢者医療広域連合議会
(県内35市町村) 7月定例会 8月2日開催

(円)

平成30年度	北村山公立病院組合議会		東根市外二市一町共立衛生処理組合議会	北村山広域行政事務組合議会	河北町ほか2市広域斎場事務組合議会	山形県後期高齢者医療広域連合議会	
	収益的収支	資本的収支				一般会計	特別会計
歳入決算	5,486,737,035	455,968,637	2,394,347,339	97,774,224	77,474,149	687,562,337	159,011,951,246
歳出決算	5,579,946,555	670,949,257	2,326,995,898	89,082,660	74,555,845	648,028,058	154,587,028,715
負担金総額 (うち交付税充当額)		960,066,000 (337,209,000)	907,683,000 (89,296,000)	90,473,000	75,060,000	636,012,000	24,225,511,338
本市実質負担額 ※交付税を除いた額		294,554,430	260,376,000	34,047,000	35,973,000	24,411,856	919,276,623
本市実質負担割合		47.3%	31.8%	37.6%	47.9%	3.8%	3.8%

東根市議会と意見交換をしませんか

市内の各種団体やグループを募集します

ボランティア団体
地域団体
小学生・中学生
高校生・大学生
などなど

連絡先：東根市議会事務局 TEL 42-1111 (内線 4111)



私の夢

神町小学校 6年

高橋 虹来さん

絵本が与えてくれた影響はとても大きく、小さい頃は寝る前にずっと読んでもらっていました。

私は、昔から絵本が好きで「絵本作家」にあこがれていました。また、お話を自分で考えること

が得意で、仕事に生かせるのではないかと思いました。

絵本には、小説やマンガにはない魅力があります。「絵」と「文章」で人の心を動かして、どんどんと物語の世界へ連れて行ってくれます。自然と笑顔になったり、悲しくなったり、登場人物に共感したりできる本の世界は、現実世界とは違った感情を見いだすことができます。絵本は想像です。作者が想像したことから想像をつなげていくと、もっと絵本の世界を広げられると思います。

私は、ある絵本で自分の世界が広がりました。また、笑顔の大切さに気が付きました。人の心を動かすような「絵」と「文章」で、読んだ人を笑顔にするような絵本作家になりたいです。



令和元年第4回定例会 日程のお知らせ

12月5日から
12月19日まで
開催予定

12月5日(木) 本会議
予算特別委員会
12月9日(月) 本会議 (一般質問)
10日(火) 本会議 (一般質問)
12日(木) 本会議 (総括質疑)
予算特別委員会
各常任委員会

12月13日(金) 各常任委員会
19日(木) 予算特別委員会
本会議

※ 日程は、定例会告示後の議会運営委員会
会で正式決定します。詳しくは議会事務
局にお問い合わせください。

令和元年第3回定例会では、延べ73名の皆様に議会を傍聴していただきました。第4回定例会もぜひお越しください。

編集後記

新人7名を加え新体制になった議会で、初めての決算議会が終わりしました。どの常任委員会も、2人以上の新人が加わった審議になり、全議員が新鮮な気持ちで取り組めたのではないかと思います。

そんなリフレッシュした雰囲気を感じていただくために、今号から表紙を刷新しました。表紙だけでなく中身もより良い内容を目指し進化させていきたいと考えています。

議会を身近に感じてもらえる紙面をつくるために、市民の皆様の率直なご意見やご感想をお待ちしております。

議会広報委員会

委員長	片桐 勝寿
副委員長	高橋 弓嗣
委員	三宅 一人
	齋藤俊一郎
	山科 幸子
	植松 宏
	高橋 光男

問い合わせ (議会事務局) TEL (42) 1111 (内線4111) ・ FAX (43) 1178
E-mail: gikai@city.higashine.yamagata.jp

